

平成22年度 高校生のための放送講座 グループ別練習 講師とテーマ

- * 全国大会出場者は加賀先生のグループに入ります。
- * 関東大会出場者は板倉先生のグループに入ります。
- * 原稿2部(自分の分と講師の分)を持参して下さい。ただし、樋坂先生のグループは受講者分の原稿を用意すること。
- * 各クラス5, 6名の予定

講座番号	講師	テーマ	内容・用意するものなど	レベル	分類
1	濱崎 俊文 先生 (東海大浦安)	物語が伝わってくる朗読	発声・発音の基本ができていないが、まだ読んでいる段階からぬけ切れていない朗読から「物語が伝わってくる朗読」に脱皮するための講座です。Nコンの朗読課題作品から選んだ部分を皆で練習します。	経験者向き	朗読
2	樋坂 裕子 先生 (柏の葉)	文の構造と伝え方	文の構造(SVO)を知って、言葉のかかり受けをうまく声に出す練習をします。内容が伝わらないと言われるはずひ受講してください。自分の原稿は受講者分(7部くらい?)持ってきてください。	不問	朗読
3	和泉 洋一 先生 (成田)	朗読劇を通して、朗読を考えよう!	参加者をいくつかのグループに分け、朗読劇の実習をします。朗読劇を通して、朗読で重要な「間」や「テンポ」、そして「息づかい」を考えてみます。	不問	朗読
4	米澤 正弘 先生 (県立船橋)	もう少しで県大会 もう少しで関東大会	「あと一歩で県大会」、「あと一歩で関東大会」で止まってしまう人のためのアナウンス講座です。もう一歩を乗り越える練習をしましょう。	経験者向き	アナウンス
5	岡本 斎彦 先生 (市原中央)	アナウンス原稿	アナウンスを数居の高いものと考えている人はいませんか?自分の言葉で表現できるアナウンスは難しいものではありません。実際に原稿を作ってみましょう!! 用意するもの 筆記用具・自作原稿(なければ不要)	初心者	アナウンス
6	石井 淳 先生 (検見川)	語りかけるアナウンス	「読む」のではなく「語りかける」アナウンスを考えます。節(ふし)や波を排除して自然に話しかけるアナウンスを学びましょう。	不問	アナウンス
7	羽根 敏子 先生 (鎌ヶ谷)	アナウンスにチャレンジ!	アナウンスってドキュメント番組の音声版です。ネタの見つけ方、インタビューの取り方、原稿の書き方、よいアナウンス原稿とはどんな原稿か…。アナウンス原稿が出来上がる過程にそって、みんなで考えてみましょう。グループワークで進めます。自分の原稿と講座人数分+1 を用意してください。	不問	アナウンス
8	尾形 保夫 先生 (一宮商業)	基本の基本	アナウンス、朗読、どちらにするか? アナウンスの題材の見つけ方は?どんなことを心がけたらいいの?初めて取り組む人に。	初心者	混合
9	大久保京子 先生 (千葉北)	Let's train your voice	呼吸法・腹筋・顔の筋肉・舌・口の開きを意識したボイストレーニング、発声をよくするための発音練習、短文の原稿読み、食事法のアドバイスなど。必要以上に体を動かす癖のある人、声をもっとよくしたい人向き。	不問	混合
10	鎗田 育代 先生 (東金商業)	現在進行形の語り	練習を重ねていくと「伝えたい」という気持ちが薄れていく。「滑舌はよくなったけれど、ただしゃべっているだけ」そんな思いをしたことはありませんか?新鮮な「語り」を試みます。	不問	混合